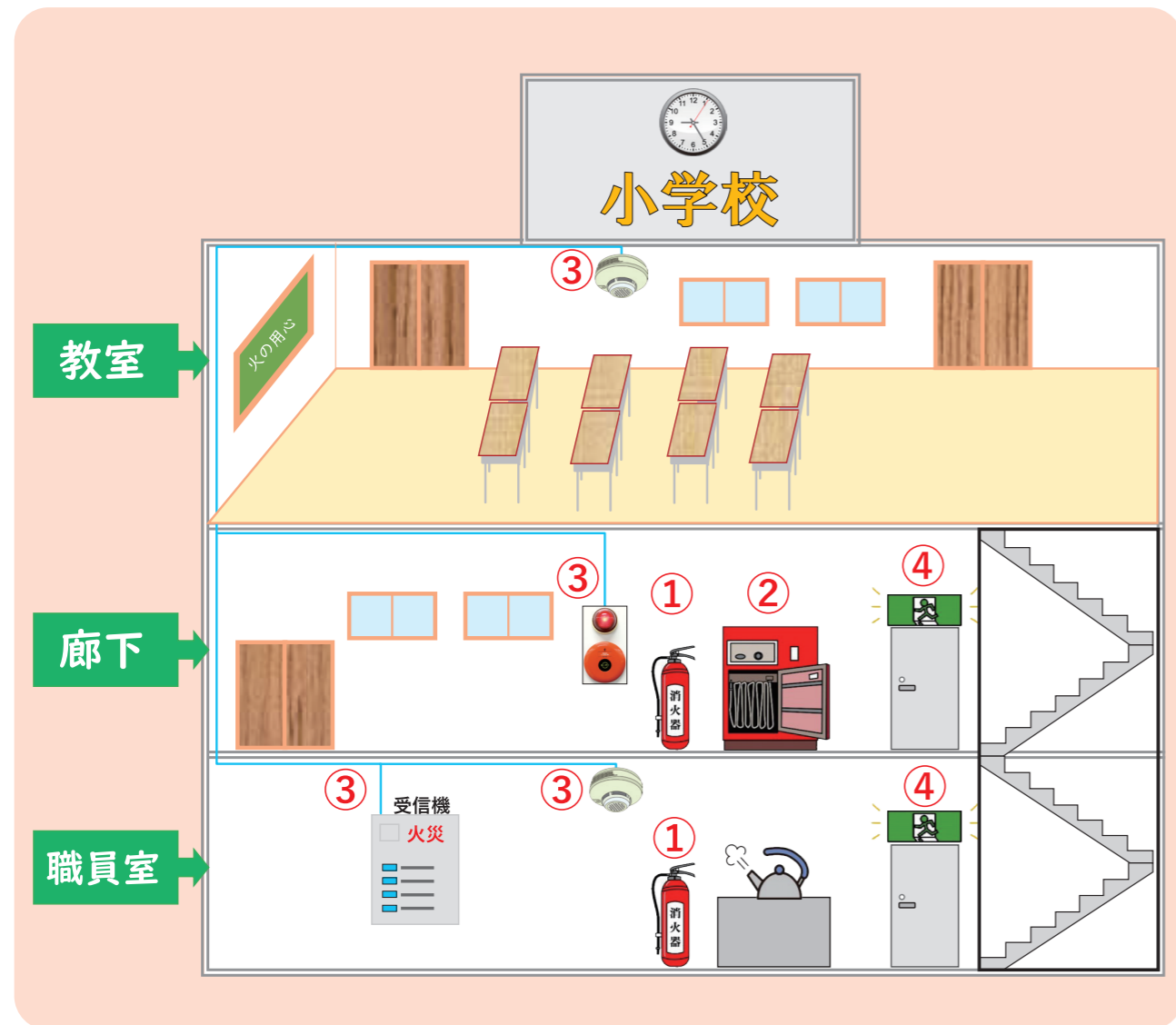


# 4 学校の消防設備！

## キャリアブックで確認しよう

消防設備は、火事が起きたときに被害を小さくするためのものです。  
 みんなの小学校にも、火を消すものや、火事を知らせるもの、  
 逃げることを助ける消防設備があります。



学校だけじゃなく、映画館、スーパー、旅館など  
 たくさんの方が集まる場所には、もっとたくさんの消防  
 設備がついているよ。  
 お家の人と一緒に確認してみてね！

### ① 消火器



**役割**  
火を消す

**場所**  
廊下  
調理室など

### ② 屋内消火栓設備



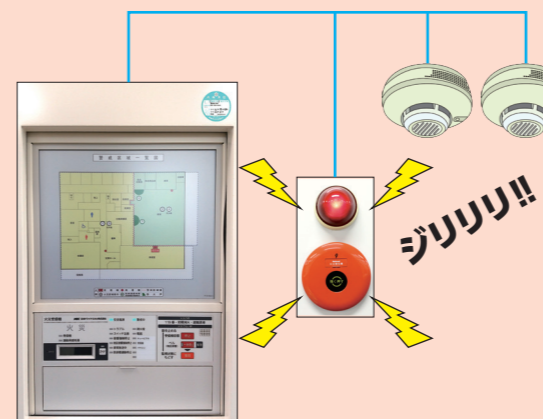
**役割**  
火を消す

**場所**  
廊下  
体育館

### ③ 自動火災報知設備

**役割**  
知らせる

**場所**  
教室  
職員室など



### ④ 誘導標識

**役割**  
逃げる

**場所**  
出入口  
廊下



# 消火器

QRコード



詳しくはこちら▶

(動画 0:46)



消火器は、小さな火事を消すためのものです。  
簡単に持ち運ぶことができ、使い方も簡単なので、いざという  
ときのために覚えておきましょう。

## 消火器の使い方

消火器の使い方は  
とても簡単だよ！



1



安全栓（黄色のピン）を抜く。

2

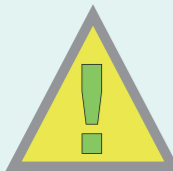


ホースをはずして火元に向ける。

3



レバーを強くにぎる。



炎が天井まで広がったら  
すぐに避難しよう！！

炎が大きくなると、消火器や水  
バケツで消すことはできません。



# 屋内消火栓設備

QRコード



詳しくはこちら▶

(動画 0:52)



屋内消火栓設備は、ホースから水を出して火事を消すものです。  
みんなの学校にあるものは、どの種類か確認してみましょう。

## 屋内消火栓の使い方

### 1号消火栓



2人で使う消火栓で、25m  
の範囲に水を出せます。

1

ボタンを押す。

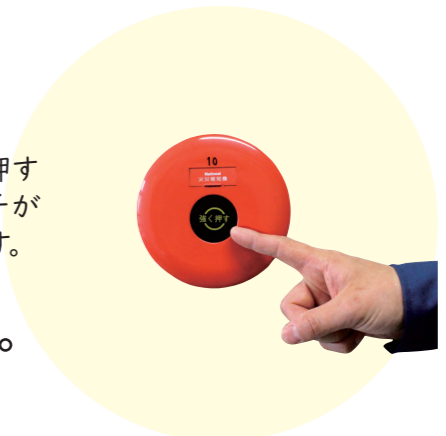
※1号消火栓は、ボタンを押す  
ことで、ポンプのスイッチが  
入る仕組みになっています。

2

ホースを延ばす。

3

バルブを開く。



### 2号消火栓



1人で使うことができる消  
火栓で、15m～25mの範囲  
に水を出せます。

1

バルブを開く。

※2号消火栓は、バルブを開い  
たり、ノズルを取り出すこと  
で、ポンプのスイッチが入る  
仕組みになっています。

2

ホースを延ばす。

3

ノズルを開く。



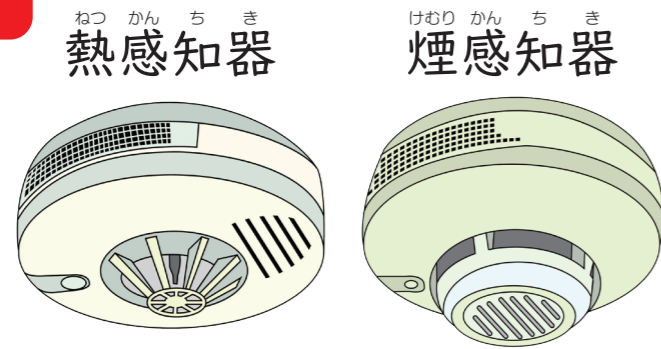


# 自動火災報知設備



自動火災報知設備は、感知器が熱や煙を感じて火事を知らせるものです。受信機にはどこで火事が起きているのか表示されます。

## 感知器



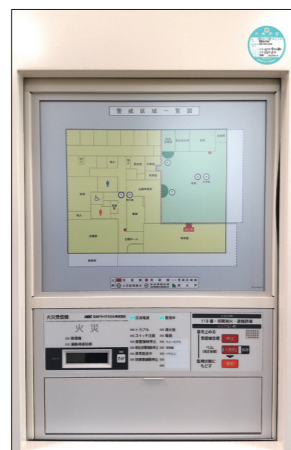
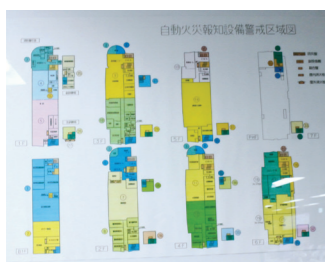
熱や煙を感じて、自動でベルを鳴らします。

## 発信機



ボタンを押すとベルが鳴って、火事をみんなに知らせます。

## 受信機



火事の場所を表示します。近くに置いてある地図で場所を確認できます。

# 誘導標識

誘導標識は、火事などで避難するときに、避難の方向や避難口を教えてください。火事の際には、目印にして避難しましょう。

誘導標識があれば、煙の中や初めての建物でも避難できるね!



## 避難口誘導標識



このマークの場所に逃げれば避難口です。扉の上についています。

## 通路誘導標識



このマークをたどっていくと避難口に到着します。廊下の壁についています。

## トピック⑧

消防署では、色々なイベントを開催しているよ!

消防署では、「火災予防」をみんなに知ってもらうために色々なイベントを開催しています。

楽しい体験をとおして火災予防について知ることができます。

イベントでみんなに会えるのを楽しみにしています。



幼年消防クラブのつどい



火災予防運動イベント